

平成 25 年度寒地土木研究所一般公開開催報告

(独)寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム
水産土木チーム

平成 25 年度寒地土木研究所一般公開を 7 月 19 日 (金)・20 日 (土) の 2 日間にわたり開催しました。2 日間とも天候に恵まれ、1,234 名のお客さまにご来場いただきました。毎年 7 月の「国土交通 Day」に合わせて開催している一般公開ですが、今年も各研究チーム・ユニットが様々な工夫を凝らした研究内容の紹介や技術相談窓口、技術者のための研究説明コーナーを開設、研究成果の社会的効果についてパネル展示をおこないました。子ども達だけではなく大人の皆様にも、それぞれのコーナーで多様な実験・体験・発見を楽しんでいただきました。

寒冷沿岸域チームでは「もっと知ってほしい私たちの海」をテーマに、水槽での模型実験、クイズコーナー、低温観測室での実演（サーモグラフィー体験）などを行いました。「断面水槽」では、実際に波を発生させ、どの位置に、どれだけの規模の防波堤を配置するとより効果が得られるかといった実験をしており、その成果が具体的な現場に活かされるということに来場者は感心し、研究所をより身近に感じていただきました。



水産土木チームでは「さわって・見て・学ぼう、北の海の生きものたち」と題して、港内泊地の水質浄化が期待されるホタテ貝殻礁の展示、アサリによる水質浄化試験の他、任意波形振動流発生装置により水中の流れを再現しました。さらに、普段は直接触ってみる機会が少ないナマコ・ウニ・ホッキガイ等の海洋生物に触れるタッチプールを設けて、普段、生物に直接触れることができない子供達に大人気の会場となりました。来年も多くの皆様のご来場お待ちしております。



ナマコなどの生物に直接触れるブースは子供たちに大人気



人工リーフや消波ブロック等について小学生に説明

